

## シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン掲載))

### 【第12回】

地域に支えられる放課後子ども教室 (三ツ城わくわく広場)

広島県東広島市立三ツ城小学校長 峯田 正史

「今日の〇〇教室は、研修室1だよ。」

受付担当のボランティアの皆さんが、やさしく声を掛けてくださり、受付を済ませた子どもたちは一目散に目的の場所に向かい準備を始めています。

毎週木曜日の放課後になると、校舎の3階で子どもたちの楽しそうな声が響き渡り、オープンスペースでは、見事な連続技の連発に驚きの歓声をあげる「けん玉教室」、和室では伝統文化にふれながら所作を学ぶ「茶道教室」、心をひとつにして美しい音色を奏でる「ハンドベル教室」等々、児童の興味関心をひくような講座が多彩に用意され、限られたスペースをうまく活用しながら、充実した活動が行われています。平成19年度は、9講座に延べ2279人の子どもたちが参加し、たくさんの地域の方々や大学生の皆さんにかかわっていただきながら、学習、体験、交流を深めることができました。また、年度末には「わくわくまつり」を開催し、1年間の学習成果を地域住民や保護者の皆さんに披露することができました。当日は、500名もの皆さんが来場され、子どもたちの演技や発表に温かい声援をいただきました。今年度は、新たに2つの講座を設け11講座でスタートし、すでに実施回数、参加者数ともに昨年度を上回っており、内容の充実により子どもたちの参加意欲をさらに高めているように思います。

活動している様子を時々覗いてみますと、どの子も実に楽しそうに生き生きと活動しており、学校とは違った子どもたちの一面を垣間見ることができます。「夢と志を育て、豊かな心を育もう。地域の子どもは地域のみんなで育てよう。」を合言葉に、多くの皆さんが毎週学校に来てくださり、豊かな経験を生かして子どもたちにかかわっていただいています。活動に対する熱き思いが確実に地域へ広がっていることを感じることができます。皆さんに支えられた取組みは、子どもたちの確かな成長につながっており、大変ありがたく感謝するばかりです。

子どもたちからは、「同じクラスの友達以外にたくさんの友達ができた。」「先生がやさしく教えてくれたので楽しかったです。教えてもらったことを弟に教えてあげるとうれしそうでした。」「大学生のお兄さん、お姉さんといろんな話のできたので良かったです。」保護者からは、「楽しみがたくさんあって、やる気につながって、自分に自信が持てたようです。」「こちらが考えていた以上に楽しんでいた様子で、参加させて良かったと思っています。」といったような声を聞くことができました。「三ツ城わくわく広場」の取組の成果を実感することができます。

昨今、子どもたちを取り巻く環境の変化により、人間関係の希薄化や体験や経験の不足などを招き、本校でも子どもたちを巡る様々な問題が深刻化しています。豊かな人間性を培っていくためには、地域・学校がそれぞれの役割を果たして体験活動の充実を図ることが大切だと考えます。まさに、「三ツ城わくわく広場」は教育的協働を果し、その目的に向かって活動しています。これからも活動の意義を共有し、学校として何ができるか、コーディネーターと情報交流をしっかりと行いながら、活動が活性化するよう連携をさらに深めていきたいと思えます。

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン) 第104号に掲載)